



特集1 令和6年  
米原市二十歳のつどい

伊吹山テレビ 1月19日号

1月7日、市民交流プラザ(ルッチプラザ)にて今年も学区ごとに分かれ2部制で行われた二十歳のつどい。  
振袖やスーツに身を包んだ310人が参加し、同級生や恩師との再会を喜びました。



二十歳のつどい実行委員会  
副委員長 瀧澤 見信さん

『こんな大人になりたい!』

他者への思いやりを忘れず、多様性を受け入れることができるようになり、今まで様々な人に助けられたことを忘れず、積極的に人助けを行える大人になりたいです。

『両親への感謝・メッセージ』

父さんと母さんの愛に支えられて成長してきたことに感謝の気持ちで胸がいっぱいです。感謝の気持ちを忘れず、これからも共に幸せな日々を過ごしたいです。

『将来の米原市への想い』

将来の米原市は、今みたいな緑豊かな自然に囲まれた、住民が協力し合う子どもの笑顔があふれる温かい市であつたらいいと思います。

『こんな大人になりたい!』

私は責任ある行動がとれる大人になりたいです。これからは社会の一員として、あらゆる決断に責任が伴います。より一層気を引き締めて行動するようにしたいです。

『両親への感謝・メッセージ』

この度、二十歳の節目を迎えることができたのは、育ててくれた父と母のおかげです。これまでたくさんの愛をくれてありがとう。父と母が周りに自慢できる娘になれるよう精進します。

『将来の米原市への想い』

西を見れば琵琶湖、北を見れば伊吹山、そんな自然溢れる米原市が私は大好きです。世界では様々な環境問題が起こっていますが、自然豊かで環境にやさしいまちであり続けてほしいです。



表紙撮影にご協力いただいた  
二十歳のつどい実行委員会  
委員長 粕淵 日夏さん